

『ありがとうメッセージ』の紹介

令和2年度

【ボランティア・市民団体】



☆ NPO 法人 本途人舎

いつもありがとうございます。

年間を通して4回の発行のある当法人の機関誌「本の小途」制作に主に活用させていただいています。たいへん好評をいただき継続してこられたのも、この育成費があったからこそです。本当にありがとうございます。今後もさらなる活動の充実を目指し、市民活動を通じて小諸市の活性化に貢献できるよう、がんばっていきたくと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

☆ 小諸市手をつなぐ育成会

コロナ禍で先が見えない日々の連続。どんな活動ができるだろうと思いつつ過ごした一年間でした。

一緒に過ごせたときには会員同士本音が聞けたり、ぐちをこぼしたりとささいな事でもお互いの心の距離が縮まった大切な時間が過ごせました。この“とき”はコロナ禍でより一層生きづらさを感じている障がい者本人や家族が話すことであたかも心に張った氷が解けるように癒され安らぐことができました。

この様な私達の活動に温かく気持ちのこもった赤い羽根募金からのご支援をいただいたことで会員がうつむかず上を向き、みなで笑顔になることができました。赤い羽根募金から頂きました支援金は「私達は一人ではない、皆様に支えていただいで生きているのだ」と温かさを実感させてくれます。大切にたいせつに使わせていただきます。

ありがとうございました。

☆ ユカレレの会

ユカレレはハワイ楽器ウクレレです。生まれ故郷はハワイ。軽くてコンパクトな可愛らしいウクレレを胸にし奏でる音色を聴いていると心が和みます。

ウクレレを背負い市内外の老人施設、地区の行事に出向き利用者さんと一緒に声合わせ唄っている時は至福さでいっぱいです。演奏、選曲にも力が入ります。

頂いています助成金を活用して念願していたアロハシャツで華やかなところを見ることが出来ました。とても嬉しいです。ありがとうございました。感謝します。

☆ 小諸市保護司会

毎年有効に利用させていただいております。



☆ ふれあいレターの会

いつも、ふれあいレターの会の活動に御理解、御協力をくださり、ありがとうございます。

例えば、ひとり暮らしではなくても、今だに先の見えないコロナ禍の不安、三密、自粛生活などに気が滅入ります。

毎月食事会をして楽しくすごした時間がなくなり身体を動かすことも億劫だよという人もいます。

おひとりですごしていれば尚のこと、心細いこともあろうかと思えます。そんな日々の生活のなかにピンポイントの刺激でもあれば嬉しいかなと思いつつ心を決めて「ふれあいだより」を書いています。何よりも安心してお便りを書けることがありがたいです。

「『社協情報』見たよ。頑張っているね。」と声をかけて下さる方、私もやってみたいと会員になられた方もいます。これからもどうぞよろしくお願ひします。

☆ 小諸更生保護女性の会

私達の活動は犯罪からの立ち直り、支援、犯罪の予防、子供達の非行防止等の活動の為、保護司会、警察署、子供支援センター、教育委員会などと連携し活動するボランティア団体です。

共同募金の配分金は犯罪の無い、おこさせない、明るい社会を作る為、会員一同自己研鑽に務める為の費用に、そして有効に使わせていただきたいと思ひます。

ありがとうございます。

☆ 季節の折り紙

今年も活動費をありがとうございます。コロナで最初はボランティアが出来ない！と困っていましたが、ボラセンの方とテキストを作ったり――。介護施設も担当者に講習をしたり――。出来る事をぼつぼつやっています。消毒等にも使わせて頂き、コロナに気を付けながら。楽しくボランティアをして行きたいと思ひます。皆で大切に使わせて頂きます。

☆ 佐久聴覚障害者協会

共同募金補助金に御協力いただきありがとうございました。今、コロナのさまざまな情報が流れ、さびしい状態です。私達は、コロナのせいでなかなか進めない状態ですが、何とかストレス発散の為にいろいろな企画を努力しながら考えております。

小諸市手話言語条例の要望は今も退きせず前向きにがんばりたいと思ひます。音声言語と手話言語とは対等で平等でありますので、前向きにがんばって行きます。



本当にありがとうございました。